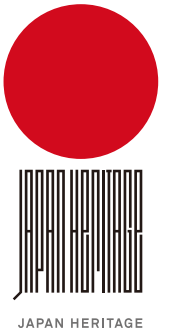


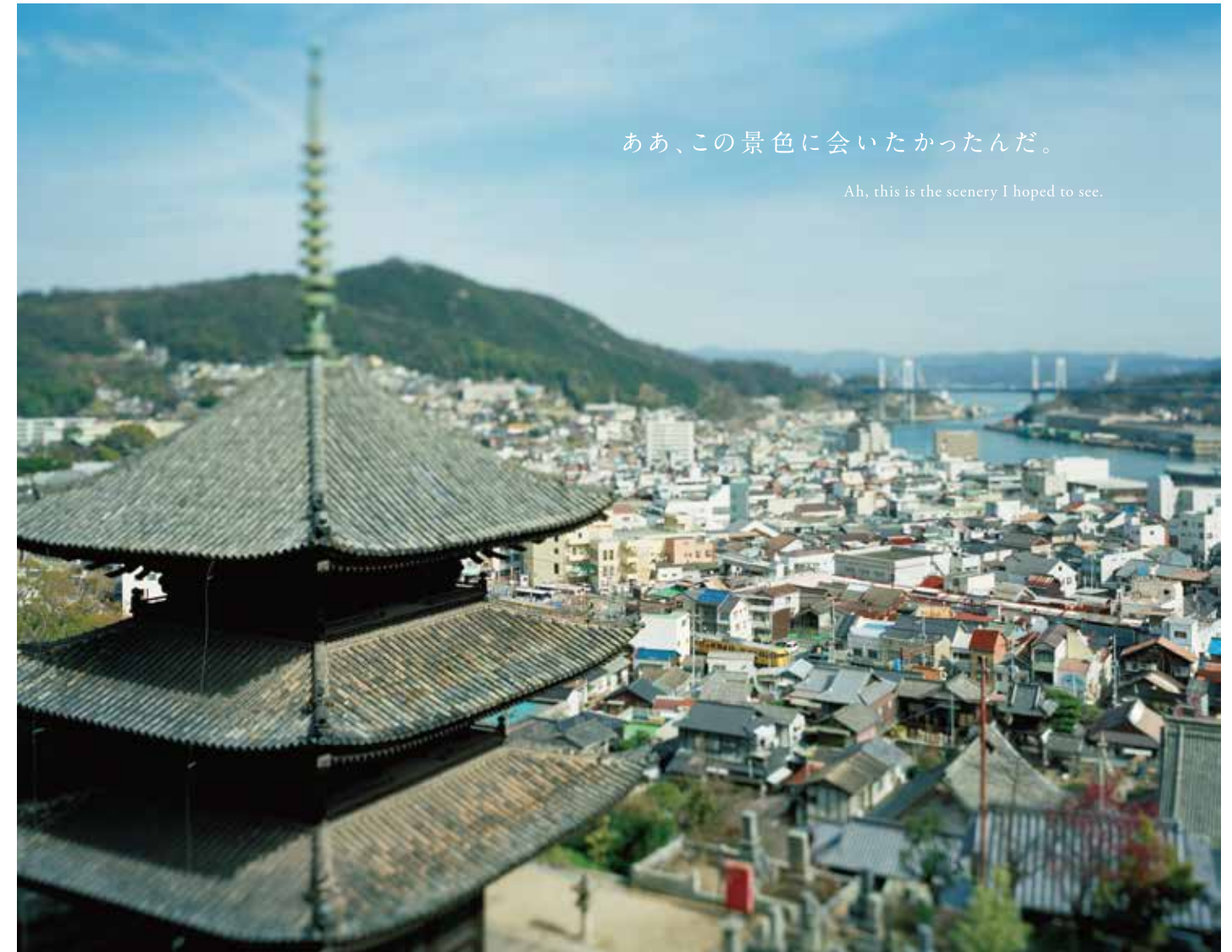
# 日本遺産 尾道市



「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」公式パンフレット



文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan



ああ、この景色に会いたかったんだ。

Ah, this is the scenery I hoped to see.

日本遺産魅力発信推進事業

「日本遺産 (Japan Heritage) とは、文化庁が平成27年度から創設したもので、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定する制度です。尾道市は、日本遺産第1号となる初年度に認定されました。

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会 日本遺産尾道市公式WEBサイト [nihonisan-onomichi.jp](http://nihonisan-onomichi.jp)





Welcome to the Heart of Japan.

Japan Heritage Onomichi



ようこそ。  
日本の  
心の縮図へ。

## 日本遺産 尾道市

想像してみてください。一筋の川のように流れる海に、  
人々の営みが寄り添うまちの風景を。  
その海は尾道水道と呼ばれ、その風景は日本の暮らしの縮図です。

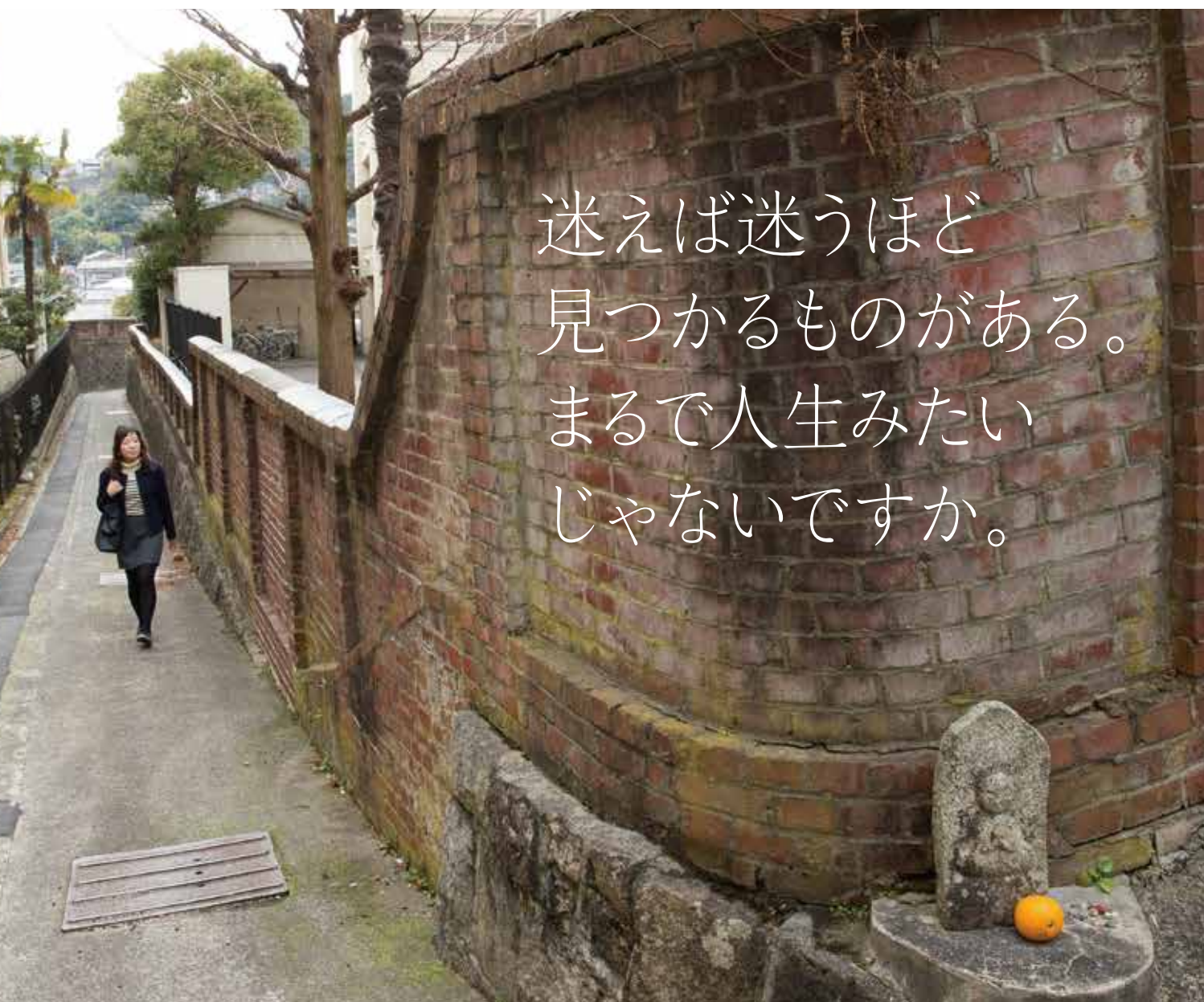
中世の開港以来、人と、モノと、財が集まる港町として栄えた尾道。  
尾道水道と尾道三山の間の限られた空間に、寺社や家々がひしめき、  
坂道と路地でつながる景色が「箱庭」にたとえられてきました。

このまちをかたちづくる、どの物語に焦点を当てるかで、  
見えてくる箱庭の景色は変わってきます。

それは、あなたの心の中にある、懐かしさの投影かもしれません。  
海の向こうの人々がイメージした、盆栽のような日本かもしれません。

ふとした瞬間、人それぞれの心の風景を思い起こさせてくれるまち。  
日本遺産の尾道で、あなたの心に出会ってください。





1  
坂道と路地の景観

足の向くまま坂道を歩き、気の向くまま細い路地を曲がる。その先にあるのが思いがけない景色であるほど、尾道のまち歩きは楽しくなるのです。



ここまでよく  
歩いてきましたと、  
中世のお寺さんが  
迎えてくれました。



2

西國寺仁王門

広島県重要文化財

仁王門の大きな草鞋は、仁王さんの  
たくましい足にあやかろうと奉納され  
てきた、坂の多いまちならではの健脚  
祈願です。

3

西國寺金堂・三重塔

重要文化財

108段の石段をのぼれば、時代絵巻の  
ような伽藍と、眼下に横たわる尾道水  
道。境内の広さも、眺めの良さも、「西  
国一の寺」と讃えられた名刹です。





4  
浄土寺本堂及び境内地  
多宝塔など

国宝

尾道水道から港に入ると、真っ先に見える古刹で中世のお宝拝見。本堂や多宝塔をはじめ、境内一帯が国宝に指定されています。



5  
西郷寺本堂・山門

重要文化財

山と暮らしに寄り添うように佇み、地元の人々に愛されてきたお寺。すぐ隣には昭和初期に建てられた小学校があり、参道でつながっています。







6  
天寧寺塔婆

重要文化財

箱庭のまちのランドマーク。千光寺山の中腹にそびえたつ三重塔は、もともと五重塔でした。尾道水道を望む重厚な姿は、中世の面影を残しています。



7  
千光寺 阿弥陀三尊像(磨崖仏)

尾道市重要文化財

笑ったような、うなずいたような。密教の修行場だった山頂の岩肌に彫られた仏さまは、中世からずっと、このまちの人々を見守ってきました。

8  
持光寺 絹本著色普賢延命像  
国宝

けんぼんちゃくしよくふげんえんみょうぞう

坂道のはじまりに、どっしりとした石の門を構える持光寺。ここには、中世の繁栄を物語る国宝、延命を功德とする普賢菩薩の仏画が伝えられています。



9  
常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼  
重要文化財

こんなところにお寺が!?路地をぬけると突然、民家の間に現れる大門。鉄道と国道に境内を分断された中世の寺院は、今もまちに溶け込んでいます。





タイムスリップを  
覚悟して、  
商都が栄えた記憶の  
扉を開けてみたい。



10

旧福井邸(文学記念室)  
登録文化財

坂の上から海を見下ろす、大正時代の数寄屋風建築。かつては、地元の近代化に貢献した企業人の邸宅でした。現在は文学記念室として開放されています。



11

そうらいけんでいえん  
爽籟軒庭園  
尾道市名勝

箱庭のようなまちに、さらに箱庭が? 江戸時代の豪商、橋本家の別荘だった爽籟軒の日本庭園は、当時、尾道水道から川でつながっていました。



12

旧尾道商業会議所  
(尾道商業会議所記念館)  
尾道市重要文化財

全国で30番目に商業会議所が設置された尾道。改修・復元された大正時代の建物は、吹き抜けや階段状の議場など、当時としてはモダンな造りでした。



13

旧尾道銀行本店  
(おのみち歴史博物館)  
尾道市重要文化財

尾道は広島県の銀行発祥の地。「銀行浜」と呼ばれるほど金融機関が林立した、港町の一角に建つ旧尾道銀行本店は、商都・尾道の面影を今に伝えています。



刻まれた歲月も  
おもてなしの一つだと、  
木のぬくもりが  
教えてくれるのです。

14

竹村家

登録文化財

まるで映画のワンシーンのよう。大正時代、尾道水道が一望できる海辺に建てられた木造の旅館。小津安二郎の映画「東京物語」のゆかりの地にもなりました。



15

西山本館

登録文化財

どこか懐かしい佇まい。今では貴重な木造三階建ての大正時代の建築物です。港や造船所関係者が数多く宿泊し、外国人宿泊者のための洋室も残っています。



16

みほらし亭

登録文化財

坂の多い尾道の中でも、ひときわ見晴らしのいい場所に建つ木造の別荘建築。昭和のひととき旅館となり、尾道水道の絶景が何よりのおもてなしでした。







港町の祭りは、  
なぜか血が騒ぐ。  
この不思議な感覚に  
国境はありません。

17

ベッチャー祭  
尾道市民俗文化財

江戸時代に疫病退散を願った奇祭。  
三匹の鬼が坂道や路地で子どもたち  
を追い回し、「ささら」でたたかれると  
頭が良くなるといわれています。



18

吉和太鼓おどり  
広島県無形民俗文化財

そのルーツは、足利尊氏の戦勝を祝い  
漁師たちが踊ったこと。旧暦7月18日、中  
世からの港町を横断して練り歩き、浄土  
寺の境内で踊りが奉納されます。



19

住吉祭

尾道水道の花火は、港で見ても坂の上  
から見ても、息をのむほど美しい。江戸  
時代の商人たちが心意気ではじめ、「東  
の両国、西の住吉」と呼ばれていました。



# 日本遺産尾道市マップ

- 1 坂道と路地の景観(市街各所)
- 2 西國寺仁王門
- 3 西國寺金堂・三重塔
- 4 浄土寺本堂及び境内地、多宝塔など
- 5 西郷寺本堂・山門
- 6 天寧寺塔婆
- 7 千光寺 阿弥陀三尊像(磨崖仏)
- 8 持光寺 絹本著色普賢延命像
- 9 常称寺本堂・観音堂・太門・鐘楼
- 10 旧福井邸(文学記念室)
- 11 爽籟軒庭園
- 12 旧尾道商業会議所(尾道商業会議所記念館)
- 13 旧尾道銀行本店(おのみち歴史博物館)
- 14 竹村家
- 15 西山本館
- 16 みはらし亭
- 17 ベッチャー祭(毎年11月1~3日)
- 18 吉和太鼓おどり(西暦偶数年の8月18日)
- 19 住吉祭(毎年7月下旬~8月上旬ころ)

